

# コンサルティングNOW

【96】

## 企業にとっての物流とは

### 国際物流総合研究所 主席研究員 古島 靖久

#### 一心サポート代表

「物流とは？」筆者が相手がこの質問された時は、このように答える。「企業は、倉庫業・3PL側の目線から捉える場合でも、荷主側のメーカや卸売業、商社のような企業の目線から捉える場合でも、本質としては「ブランド」を認める筆者は持っている。旧態依然の企業にとっては、単なる「コスト」と捉えられている現実はいまだにある。企業の売上高のおおむね10%を占めるのだから当然と言えば当然だろう。

企業の利益をつくるのは物流部門である。これがなかなか理解されない。企業内の会話の中で経営幹部が「物流は大事だ」といふ言葉を口にするのは、筆者は驚かす。物流をブランドとして捉えている企業は、いまさら「物流は大事」といふ言葉を口にするのは、筆者は驚かす。物流をブランドとして捉えている企業は、いまさら「物流は大事」といふ言葉を口にするのは、筆者は驚かす。



物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。

「物流とは？」筆者が相手がこの質問された時は、このように答える。「企業は、倉庫業・3PL側の目線から捉える場合でも、荷主側のメーカや卸売業、商社のような企業の目線から捉える場合でも、本質としては「ブランド」を認める筆者は持っている。旧態依然の企業にとっては、単なる「コスト」と捉えられている現実はいまだにある。企業の売上高のおおむね10%を占めるのだから当然と言えば当然だろう。

企業の利益をつくるのは物流部門である。これがなかなか理解されない。企業内の会話の中で経営幹部が「物流は大事だ」といふ言葉を口にするのは、筆者は驚かす。物流をブランドとして捉えている企業は、いまさら「物流は大事」といふ言葉を口にするのは、筆者は驚かす。

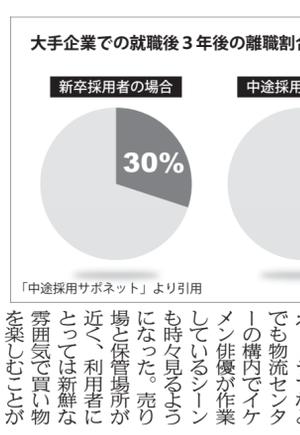
物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。

物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。

物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。

物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。

物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。



物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。

物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。物流を「日常」にするのは、企業にとっての課題である。

15年11月に銀座コナチン格スクールのコーチ認定資格を取得し、16年4月に物流改善コンサルタントとして独立。中小企業のメーカ・商社の物流センター業務改善、若手物流マンの育成などを軸として、企業の物流部門の「やりたい、なりたい」を実現するために日々活動中。

## フレッシュマンのための航空貨物Q&A 100問100答

日刊CARGO編集部編 第6版

フレッシュマンからベテランまで 必読の1冊!!

- 経済の先行指標“エアカーゴ”を分かりやすく解説
 

最新情報に基づき、2012年版を改訂。初歩的なテーマからホットな話題まで、専門記者が厳選した100の質問を選び直しました。写真や図表を使い各用語など丁寧な説明を行っています。MEMO欄ではそれぞれの項目を補足する内容となっています。
- 最新のエアカーゴ関連の統計資料も掲載
 

エアカーゴに関する統計が一目でわかるように図表で掲載しています。最新情報を基にした統計資料は、エアカーゴ輸送のポイントや「いま」の動向が理解できるとともに、将来のエアカーゴ業界を考える切っ掛けにもなります。

海事プレス社

最新版Q&A 内容紹介(抜粋)

**入門編**

- 世界でどのくらいの航空貨物が運ばれているのですか? ■最新型は貨物が多く積めるそうですね ■ハブ・アンド・スポークとはどういうことですか?

**初級編**

- IATAの仕事とは何ですか? ■実際に運賃はどうやって決まるのですか? ■温度管理と軽さが重要と聞きましたが? ■電池が危ないと言われますがなぜですか?

**中級編**

- シカゴ条約が民間航空体制の基本といわれますか? ■航空運航のルールは海運とは異なるのですか? ■航空貨物の通関はコンピューターで行われているそうですね?

**応用編**

- 輸出入申告がどこからでも、どこへでも可能になるのですか? ■爆発物検査は100%行わなければならないのですか? ■貨物もeチケットみたいなものを導入しているそうですね?

**統計・資料編**

- 日本出入航空貨物取り扱い実績の推移 ■航空貨物貿易額の推移 ■航空機積み込み・取り降ろし貨物量の推移

ご購入お申し込みは 海事プレス社 ダイレクトショップで!

価格 1,900円(税・送料別)

10冊以上購入で定価より10%割引いたします

お問い合わせは...

TEL 03-5835-4162

E-mail: hanbai@kaiji-press.co.jp

www.kaiji-press.co.jp

電子版も発売中

価格 2,052円(税込み)

下記電子書店でもご購入いただけます

Amazon / iBooks / 楽天kobo / セブンネットショッピング / ブックパス